

JC PRESS

夏号

一般社団法人 京丹後青年会議所
2014年度スローガン

つつしん
がくどう

徹心楽動

夢と希望があふれる京丹後の創造



一般社団法人 京丹後青年会議所

2014年度理事長 由利彰基

「ごあいさつ」

平素は、私も一般社団法人京丹後青年会議所に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

本年度も残すところあと5ヶ月となりました。年当初に掲げた「徹心楽動く夢と希望があふれる京丹後の創造」のスローガンを胸に抱き、青年らしく「英知と勇気と情熱」を持ってメンバー一丸となって運動活動を展開しています。その一環として6月に実施しました青少年健全育成事業「小学生ウルトラクイズin京丹後」そして、7月に実施しましたまちづくり事業「HAMAMOTO グランブリック」で食べる旨いグルメ日本一決定戦」に、ご協力を頂きました京都府、京丹後市をはじめとする行政並びに関係諸団体の皆様には、大変ご尽力を賜り無事に事業を成功裏に終えることができました。そして、何よりもこの事業にご参加頂きました市内の子ども達や多くの市民の皆様には、この事業を通じて、まちの魅力をご存分に感じ、郷土愛を深めて頂けたと思います。事業にご参加頂きました皆様には、心から感謝申し上げます。

今後、私たちの運動や活動に対し、地域の皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

JC PRESS

夏号

十楽こんには訪問グループ

●地域のつながり〜京丹後市久美浜町〜

（社）京丹後青年会議所では今一度自分たちの身近なコミュニティとのつながりを持つことの重要性を伝えていく必要があると考えています。総務広報委員会では、京丹後の幅広い年齢層の方々につながるテーマにし、つながることの大切さを感じていただける活動をされている地域の様々な方に、その活動の様子や思いを伺って参ります。

そこで今回は京丹後市久美浜町地区で「十楽こんには訪問グループ」として活動をされている皆様にお話を伺いました。



▲(左)小村みゆきさん (中)岩田由起子さん (右)柿本寿々子さん

メンバーからキャップと呼ばれる河辺さんを中心として、女性メンバーを中心に月に1回75歳以上のひとり暮らしの老人を訪問し、また年に2回は社会福祉協議会や区の補助金を活用し、その季節やその人に合ったプレゼントを贈り、そして春と秋にはバラス寿司やぼた餅を作り2人で暮らすお年寄りの自宅にも配布するなど、年間を通して地域の老人に寄り添い見守る活動をされています。

平成20年に社会福祉協議会から見守り強化事業の一つとしての提案がきっかけとなり、平成21年の1年間試験的に活動を始められ、1年間の活動を通して今後も続けてみてはどうかという声が上がりが当初7人で始めた活動ですが、5年経った今では新しいメンバーも加わり総勢12名で地域を見守り続けておられます。



▲(左)大下 強さん (右)河辺 徹さん

お話の中で今まで続けてこられた秘訣を伺うと、「無理のないように、出来る範囲でやることが一番。」と仰っておられました。訪問する方も徒歩で気軽に立ち寄れる距離で、また訪問される方にも負担にならないようにと心がけておられるそうです。「ただ顔をみて世間話をしながら、日常の中で笑ってもらえる時間になるように。」という思いで、何か特別なことをするわけではなく日々の生活の中で自然な形で気にかけておられます。実際には月に1回訪問するだけではなく電話でも様子を伺うこともあるそうで、お年寄りから「顔が見て喋りたいわ」と言っていたら、「そんな時は「何かあったかな?」と顔を見に行かれます。」と顔をみに行かれます。

自分から積極的に外に出たがらないお年寄りも少なくなく、我慢強い人



が多い世代ですが、今では相手から積極的に近況報告をしてくれたり「今日初めて笑ったわ。ありがとう。」と嬉しいお言葉をいただくこともあるそうです。

また活動を続けて行く中で、グループには所属していない近所の店舗や住民の方からも「今日あそこのお宅のカーテンが開いてないけど、何か聞いていい?」などと気にかけてもらえるようになったそうです。地域の人が支えられ、自分は誰かと一緒にこの地域にいるのだと実感し、支援の輪が広がっていくことが喜びだと皆さん仰います。

今後は年に5回程度のサロンの開催も計画されており、この活動が口コミで広がり、ひとり暮らしの老人だけに限らずたくさんの方々に気楽に参加してもらえたらと考えておられます。

閉鎖的な社会になっていく一方で、自分達の間で見て耳で聞いた情報をコミュニティで共有することは、お年寄りを支えるだけではなく、地域で暮らす子ども達や若い世代にも重要なことです。地域住民同士が日々の生活の中で自然な形で気をつけたり、助け合うことができれば、助け合うことが大切であると考えています。

JC PRESS

夏号

巷談

2014年度 一般社団法人 京丹後青年会議所 メンバー紹介

理事長	由利 彰基	副理事長	三木 健徳	専務理事	小松 悦之	監事	高野 恭平	水田 博基	金盛 将士	水戸 照人	野木 教貴	沖田 真奈美	田中 慎太郎	青少年育成委員会	小牧 圭太	橋本 健	櫻井 祐策	藤井 崇史	森 敏明	沖田 啓介	松田 国男	高橋 大輔	和 晋	蒲生 徳彦	上古 大輔	吉岡 信勝	中村 礼子	総務広報委員会	委員長	草本 篤志	佐竹 俊樹	中山 良	足立 通啓	田中 秀佳	野木 久聖	事務局	大西 啓代	事務局長	大西 啓代
-----	-------	------	-------	------	-------	----	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	----------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	---------	-----	-------	-------	------	-------	-------	-------	-----	-------	------	-------

第7回 小学生ウルトラクイズ 京丹後

～知ろう!学ぼう!体験しよう!大きく育て京丹後の小学生!～

去る平成26年6月15日、7回目を迎えた「小学生ウルトラクイズ in 京丹後」を開催させていただきました。今年は「知ろう!学ぼう!体験しよう!大きく育て京丹後の小学生!」をテーマに市内の小学生5・6年生100名に参加をいただき実施いたしました。この事業は市内各所をバスで回りながら、クイズや様々な体験を通して京丹後市についての知識を深めてもらい郷土愛を育むことを目的に開催をしています。



主催／一般社団法人 京丹後青年会議所 後援／京丹後市教育委員会

協賛／株式会社 安達住設 京都府農業公園 丹後あじわいの郷 コカ・コーラウエスト株式会社
丹後海陸交通株式会社 株式会社 丹後乳販 ブラザホテル 吉翠苑
株式会社 マルハン ブラザアピア峰山 株式会社 峰山商業開発 株式会社 淀徳商店

太陽の日差しが強い中、クイズや現地での体験とハードな一日だったとは思いますが、子ども達にとってこのウルトラクイズが大人になっても忘れることのない、かけがえのない一日になることを願っています。



優勝

ANAチーム
(峰山小学校)

ついでに、最後にになりましたが保護者の皆様、また教育委員会・学校関係者・協力団体の皆様、そして本大会の主旨を理解し、協賛していただきました企業の皆様に心よりご協力とご支援の御礼を申し上げます。ありがとうございます。

7月6日(日)京丹後市久美浜町の小天橋海水浴場におきまして、7月例会「HAMA-1グランプリ」浜辺で食べる旨いグルメ日本一決定戦」を行いました。

この事業は、市民の方々に自分達の住むまちについて関心を深めていただき、食を通して京丹後の魅力を市内外に発信し、地域の活性化を図る目的で開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、何kmも続く白い砂浜と真つ青な日本海を眺めながら、丹後の食を満喫していただき、丹後の素晴らしい魅力を感じていただくことができたものと思います。

出店いただいたお料理は、京丹後産の海藻や貝を使用したご飯やうどん、京丹後産のニンニクを使用したギョウザや、京丹後で採れた野菜をふんだんに使用したカレーなど、京丹後の食材にこだわった素晴らしい料理ばかりでした。来場者の方々には京丹

後の魅力のひとつでもある「食」を存分に楽しんでいたただけものと思います。

また今年は京丹後市制10周年という記念の年でもあり、開催日が七夕の前日ということで来場者の方々には短冊に10年後の京丹後市への願いを記入し、会場内の笹に飾り付けていただきました。まちに對する願いをご記入いただくことで、自分達の住むまちに對し少しでも関心を持っていただき、まちのことを考えていただくきっかけになったものと思います。短冊でいっぱいになり大きくなった竹を見ると、市民のまちを思う気持ちの重みを感じることができました。

本事業開催に際し、京都府、京丹後市をはじめ、京丹後市観光協会、湊宮区、湊地区活性化協議会、小天橋観光協会、NPO法人京丹後コミュニティ放送、出店者の方々など、多数の皆様にご協力いただき無事に事業を終えることができました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

編集後記

京丹後青年会議所新聞の夏号を発行するにあたり、ご協力を賜りました十楽こんにちは訪問グループの皆様へ、先ずは心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

私達、総務広報委員会では、今後もこのまちで活動をされている個人や団体の皆様へ取材を進め、12月に本年度最終号となります京丹後青年会議所新聞を発行して参りますので、是非ご覧いただきたく思います。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

本年度、一般社団法人 京丹後青年会議所では「JCプレス」を京丹後市のご家庭に新聞折込させていただきます。※季刊誌として年内2回発行(7月・12月)
記事に関するご意見、ご質問等ございましたら一般社団法人 京丹後青年会議所／総務広報委員会までお寄せください。

〒627-0041 京丹後市峰山町菅373番地 ふきあげビル4階401号
TEL.0772・62・3153 FAX.0772・62・3120
info@kyotangojc.com

www.kyotangojc.com

京丹後JC WEB 京丹後JC 検索

「一生の友に出会える」

人は誰でも、悩み判断に迷う時には誰かに相談したくなるもの。
それが会社経営のことなら尚更だ。
そんな時、自分と同じ立場で相談できる友がいる。
それだけでもきっとあなたは救われるはず。
かけがえのない一生の友ができる。
あなたの入会をお待ちしています。

一般社団法人 京丹後青年会議所
会員募集中



焼きとり じゃけさん「焼きとり丼」



▲フラダンス「ARASA」



新入会員紹介

4月入会



たなか しんたろう
田中慎太郎 (32歳)
ブラザホテル吉翠苑
京丹後市峰山町杉谷

4月入会



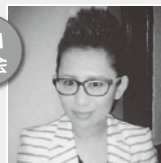
おきた けいすけ
沖田啓介 (36歳)
㈱アウルコーポレーション
京丹後市網野町木津

7月入会



のぎ ひさとし
野木久聖 (30歳)
株式会社 野木源
京丹後市丹後町間人

7月入会



なかむら れいこ
中村礼子 (34歳)
三洋観光社
京丹後市峰山町長岡